

# 「特別活動」活動案

平成 27 年 5 月 27 日(水)

対象児童 3~5 年 12 名

## (1)テーマ

はじめての特別活動～SAS について～

## (2)活動のねらい

どのような流れで SAS が展開されていくのか、SAS での約束ごと等について伝え、今後の SAS への見通しを持つ。子ども同士だけでなく、指導員ともかかわることで、「SAS って楽しそう」という思いを持つ。

## (3)準備物

SAS 紹介プリント、のり、色鉛筆、サインペン、自己紹介ゲームカード

## (4)展開

| 時間<br>(45 分)                                   | 児童の活動                                               | 指導者の支援                                                                                    |
|------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 15:55                                          | ○勉強タイムから特活に切り替える。                                   | ●学習を続けたい子の気持ちを理解しながら、声掛けをし、学習の道具を片づけるよう声掛けをする。                                            |
| 16:00                                          | ○SAS 紹介プリントをもらい、それを見ながら、指導員の話に耳を傾ける。                | ●SAS 紹介プリントを配り、それに沿って、伝えていく。(山口)                                                          |
| 16:10                                          |                                                     | 日直について説明(田中)                                                                              |
| 16:15                                          | ○SAS プリントファイルに名前を書く。<br>出席カードづくりをし、出来たら、表紙づくりを行う。   | ●ファイルを配布し、全員が作成し終わったら、出席カードを配布。<br><br>まだ作成を続けたい子もいるだろうが、次回の休み時間等で出来ることを伝え、自己紹介ゲームに切り替える。 |
| 16:30                                          | ○自己紹介ゲームを通して、同学年だけでなく、他学年・指導員とも関わり、SAS での人のつながりを作る。 | ●自己紹介ゲームのルール(2 枚目参照)説明をし、指導員も一緒に加わる。                                                      |
| ※日直の説明後、子どもたちの様子を見て、集中が途切れそうであれば、自己紹介ゲームを先に行う。 |                                                     |                                                                                           |
| 16:40                                          | ○片づけをし、帰る準備をする。                                     | ●SAS での下校準備が初めての子もいるので、することを声掛けする。                                                        |

### <自己紹介ゲーム>

① 9マスある用紙の各マスに、SASにいる人に当てはまりそうな項目を記入する。

例：血液型A型、ウサギが好き、等

② 下の（ ）には、自分の名前を記入する。

③ 鉛筆をもって、音楽が流れている間は教室内を歩き回る。

④ 音楽が止まったら、近くにいる人とあいさつをする。じゃんけんで勝った人から、用紙を見せながら、「当てはまるものはありますか？」と聞き、当てはまる項目があれば、1か所に自分の名前を記入する。じゃんけんで負けた人も同じように質問して、記入してもらう。

⑤ 終わったら、席について、マスをはさみで切って、分割し、指導員が回収する。

（⑤を活動時間内に行うのが無理そうであれば、用紙ごと指導員が回収）

回収したマスは、後ろの壁面に、ネームプレートのようなものと一緒に貼っていく予定。

例

|  |  |       |  |
|--|--|-------|--|
|  |  | 大教 太郎 |  |
|  |  |       |  |
|  |  |       |  |

### 【活動を終えての感想（成果及び課題）】

SAS 説明プリントをもとに、時間の流れを説明した。先生が目があったからか、比較的静かに聞いていた。座って話を聞く時間長かったため、集中力がだんだんときれてしまっていたよう。SAS について知らない子どもも多く、去年とは異なる点もあったため、丁寧に説明したが、伝えたいことの中心は何なのかを考えて、説明を構成すべきだった。

SAS プリントファイル作成では、向きに戸惑う子が多いと予想し、実際に前で作成したり、板書したりして、視覚的に分かりやすく示した。「サス」が「SAS」だということを認識していない子もいて、「エス エー エス」と表現するべきだった。

毎年、1人ずつ前に出て自己紹介をするという形をとっていたが、人数が多かったり、恥ずかしがって声が届きにくいなどで、自己紹介がだらだらとなってしまうため、今年は、ゲームを通して自己紹介ゲームを行った。自己紹介ゲームカードに名前を書く際、フルネームで書くよう指示しなかったため、回収したときに、同じ名前の子のカードがどちらのカードなのかわからなくなってしまった。特別活動案では、音楽が止まったらじゃんけんをして・・・という予定であったが、音源を用意できなかったため、ベルを使用した。しかし、ベルの音が小さいことや、ベルが鳴ったらじゃんけんをするというルールがあまり伝わっていなかったようで、ベルの音関係なく、出会った人とじゃんけんをするという形になった。指導員の指示でじゃんけんをするよりも、出会った人とじゃんけんをするという形をとった方が、より多くの人と交流することができるだろうが、交流できる人数の個人差が生じてしまったようである。

12人という少人数であったこと・指導員が8人いたことから、子どもたちの声に対応することができ、他の指導員のフォローのおかげで、スムーズに行うことができた。指導員の多さを強みにし、うまく連携をとり、今後も子どもたちの声にしっかりと対応していきたい。

# 「特別活動」活動案

平成 27 年 6 月 17 日

(水)

対象児童 2～6 年生 19 名

## (1)テーマ

「なんでもバスケット (自己紹介 ver)」(異学年の児童、学生指導員との交流)

## (2)活動のねらい

旭ヶ丘 SAS で共に活動していく仲間のことを知り、互いに協力できるよう関係を築く。

## (3)準備物

児童と学生指導員の分の椅子

## (4)展開

| 時間<br>(30 分)       | 児童の活動                                                                                                        | 指導者の支援                                                                            |
|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 準備(5 分)<br>説明(5 分) | ○教室の準備(机の片付け、椅子の設置)<br>○ゲーム内容の説明<br>なんでもバスケットと基本ルールは同じ。<br>真ん中に立った場合、一言自己紹介をする、<br>または他の児童・学生指導員が本人に質問し<br>て | ●他の児童が質問する場合は、人が嫌がる・答<br>えにくい質問をしないよう指導しておく。                                      |
| 実施(15<br>分)        | それに答える<br>○ゲームの実施<br>児童とともに学生指導員も参加する。                                                                       | ●児童が自己紹介で言葉につまってしまったと<br>きは、学生指導員が「好きな食べ物は？」<br>「得意なスポーツは？」といったように適宜<br>簡単な質問をする。 |
| 後片付け<br>(5 分)      | ○後片付け(椅子の片付け、机の設置)                                                                                           |                                                                                   |

## [活動を終えての感想 (成果及び課題)]

過去にフルーツバスケットをしたことがある児童が多かったため、2～6 年生全員及び学生指導員が参加しやすく、楽しめる内容となった。

はじめはルールを知らない児童がいたため、フルーツバスケットを数回行いルールの確認を行ったのは、理解しやすく良かった点だと考える。

なんでもバスケットを行っているときは、とっさに言葉が思いつかず真ん中で黙り込んでしまう児童がいたり、数人の児童にのみ共通する事項を言う児童がいたりした。適宜、「みんなに当てはまる事項を言うようにしよう。」と助言を行う必要があると感じた。

# S A S ポスターを作ろう！

平成 27 年 5 月 27 (水)

対象児童 3~6 年生 名

## (1)テーマ

みんなで協力して S A S ポスターを完成させる。

## (2)活動のねらい

- ・グループ内でのつながりや、グループでの目標を設定する。
- ・他人に説明する力を身につけさせるために、まずは自分の考えをまとめることができる。

## (3)準備物

模造紙、ペン、色紙

## (4)展開

| 時間<br>(40 分) | 児童の活動                                 | 指導者の支援                                                                        |
|--------------|---------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 導入 5 分       | ○学生の説明を聞く。机を移動する。                     | ●やることを黒板にまとめておく。                                                              |
| 展開①<br>15 分  | ○グループの名前、目標、グループ内での係などを話し合い、紙に書く。     | ●前期を通してのグループとなるので、悪い方向に進まないように気を付ける。<br>●目標を考えるだけでなく、どうしてその目標にしたのかも言えるようにさせる。 |
| 展開②<br>10 分  | ○一人一つずつ色紙で花を作り、ポスターを装飾する。             | ●花づくりに詰まっている子の補助をする。                                                          |
| まとめ<br>10 分  | ○班の名前などを書いた紙と、児童の作った花を合わせてポスターを完成させる。 | ●時間が足りなければ、金曜日までに完成させる。また、その日休みの児童がいれば、別の日に花を作らせる。                            |

[活動を終えての感想 (成果及び課題)]

# 「3年生タイム」活動案

平成 27 年 5 月 29 日（金）

対象児童 3 年生 名

## (1) テーマ

ようこそ SAS へ！

## (2) 活動のねらい

SAS について知ってもらう。簡単なアイスブレイクをする。

## (3) 準備物

トランプ 1 セット

## (4) 展開

| 時間<br>(45 分) | 児童の活動                                                                                                                                                   | 指導者の支援                                                           |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 15 分         | ○トランプを使った自己紹介ゲーム<br>・ ルール説明を聞く<br>・ 2 班に別れて名前だけ自己紹介してからババ抜きをする。<br>・ 同じ数字のカードには同じ質問が書かれている<br>・ それが手札でそろえば捨てる時に質問に答える<br>・ 片づけ                          | ●学生も参加します<br>●ルールを理解していない児童のフォロー<br><br>●片づけを促す                  |
| 10 分         | ○SAS へようこそ<br>・ SAS ではどんなことをするのか、友達・兄弟から聞いて知っている児童は挙手して発言<br>・ SAS の時間割と、それぞれどんな活動をするのかの説明<br>・ その他、あいさつや荷物の置き方、休憩時間、勉強タイムちゅうに用事がある人はまず手を挙げることなどのルールの説明 | ●板書や、前に貼られた紙などを活用しながらしっかりと理解させる。<br>●詳しくは、この後の勉強タイムの前に説明するので、簡単に |
| 残り時間         | ○勉強タイム                                                                                                                                                  | ●メリハリをしっかりとつける                                                   |

[活動を終えての感想（成果及び課題）]

# 「特別活動」活動案

平成 27 年 6 月 10 日 (水)

対象児童 3~6 年生 17 名

## (1) テーマ

謎解き！自己紹介ゲーム

## (2) 活動のねらい

班活動を通じて協調性をまなぶ+自己紹介

## (3) 準備物

白い紙、太いペン

## (4) 展開

| 時間<br>(40 分) | 児童の活動                                                                                                                                        | 指導者の支援                                                                                                                                     |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|              | ○一班 5 人でチームを組んで、座る。<br><br>○班の中で自己紹介をする。<br><br>○提示された問題を解く（ミッションをする）<br>○一番正解数の少なかったチームから自己紹介をする。<br>○上の二つを繰り返す<br><br>○最後まで残ったチームが自己紹介をする。 | ●それぞれの班に指導員が一人か二人つく。<br><br>●指導員がその班の自己紹介内容を決める。<br><br>●指導員は結果に支障がない程度にサポート。<br>●指導員も自己紹介をする。<br>自己紹介を聞くときはおへそと顔を発表者に向けるように言う。<br><br>●上同 |

## 〔活動を終えての感想（成果及び課題）〕

特活の時間内に SAS ファイルを作ろうと思ったため、一班 6 人+指導員 2 人にして班の数を減らして、時間の短縮に臨みました。結果、35分で終わることができました。

良かった点…班の中の指導員の皆が、発表者の方を向くように児童に言っていたこと。

悪かった点…児童が工夫していたところを褒めきれなかった点。（長谷坂さんが発表の札を全員に向けたのを褒めるべきであった）

## 2015年6月17日(水)特別活動案

### (1)テーマ

ようこそ SAS へ！

### (2)活動のねらい

SAS でのルールを知り、SAS に対するプラスイメージをもってもらう！

### (3)準備物

ワークシート

### (4)展開

| 時間          | 児童の活動                                                                                                                                            | 指導者の活動および指導上の留意点                                                                                                                                           |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 15:10~15:30 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○あいさつ</li> <li>○机にはなにもない状態で話を聞く</li> </ul>                                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>●はじめましてのお話</li> <li>●学生 1 人ずつ自己紹介をする</li> <li>●SAS のルールを話す</li> </ul>                                               |
| 15:30~15:45 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○筆記用具を出して漢字クイズを各自で考える（1 分間）</li> <li>○手を挙げて発表する</li> <li>○グループで考える（3 分間）</li> <li>○グループごとに発表する</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ワークシートを配り、漢字クイズを出す</li> <li>●児童の挙げた答えを板書する</li> <li>●3 つのグループに分ける</li> <li>●発表を聞く姿勢をつくらせる</li> <li>●まとめ</li> </ul> |
| 15:45~15:50 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○しっかりと話を聞く姿勢</li> </ul>                                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●話が聞ける状態になるまで待ち、SAS のルールを再確認する</li> </ul>                                                                           |

### (5)振り返り

自己紹介やあいさつを含めルール説明を予定通りの 20 分間行ったのですが、座って聞くだけの行為が続くのは集中力的にもきつかったように感じました。話す内容やスピードに関してはよかったが、もう少しコンパクトにまとめて、手短にかつしっかり伝えることができればよかったなと思います。時間と児童の様子を見て「〇ん 〇ん」のクイズでは擬音語をありにして、漢字の応用はなし、結果発表は帰る前という風に臨機応変に対応できたのはよかったと思います。次からは時間配分と動きを特に意識していきたいと思います。